第６講　院政と平氏政権

PART2 院の仏教保護と桓武平氏の台頭

Chapter１　院の仏教保護

目標
院が仏教を保護すると政治が腐敗したのはなぜだろう？
皇族や貴族が僧兵を抑えられなかったのはなぜだろう？

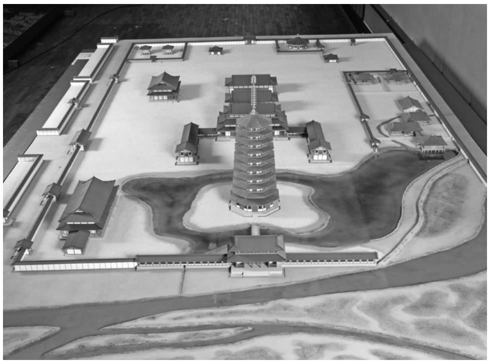
1　院の仏教保護

①〔1　　　　〕とは？
白河・鳥羽・後白河の３上皇は出家して法皇となった。
そして，仏教の振興により末法を克服し，
鎮護国家と五穀豊穣を実現しようと造寺造仏・寺社参詣などを積極的に行った。

②皇室による〔2　　　　　〕の建立
〔3　　　　　〕**（白河天皇）**・尊勝寺（堀河天皇）・最勝寺（鳥羽天皇）・
円勝寺（待賢門院）・成勝寺（崇徳天皇）・延勝寺（近衛天皇）という
６つの大寺院を，平安京外の白河殿周辺に続々と建立。

③寺社参詣
３上皇は，大寺院である**高野山金剛峯寺**（紀伊国）に参詣する**高野詣**,
大寺社である**熊野三社**（紀伊国，熊野本宮・新宮・那智）に参詣する
〔4　　　　　〕を何度も行った。

④財政難による政治の腐敗
３上皇が，造寺造仏・寺社参詣・盛大な法会などに執心。
離宮の造営なども重なり財政難を招き，
成功・重任など売位・売官が流行して
政治が腐敗した。


法勝寺の模型

2 僧兵の横暴

院の仏教保護の度が過ぎて財政難を招き政治が腐敗。

自然災害や疫病の流行，戦乱などもある中で，京やその周辺では，

武装した〔5　　　　〕・神人の横暴により政治・社会不安が増大した。

①『源平盛衰記』による白河法皇の天下三不如意

　賀茂川の水，双六のサイ，山法師。

②僧兵の横暴

A　種類

あ　**興福寺〔南都〕**（大和国）

※**奈良法師**と呼ばれ，春日神社の神木を掲げ強訴を行った。

南都＝奈良には東大寺もあった。

い　**延暦寺〔北嶺〕**（近江国）→山門派〔円仁派〕

※**山法師**と呼ばれ，日吉神社の神輿を担ぎ強訴を行った。

う　園城寺〔三井寺〕（近江国）→寺門派〔円珍派〕

※寺法師と呼ばれ，しばしば比叡山延暦寺の山法師と争った。

B　活動

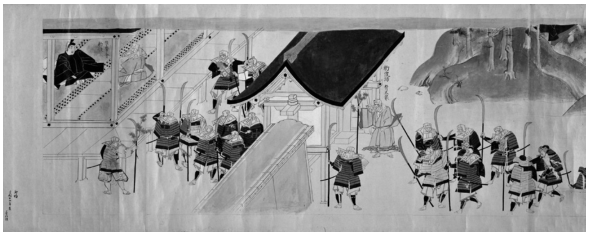
国司や在庁官人との抗争，朝廷・院に対する**強訴**，大寺院間の合戦など。

※国司や武士に対する民衆の不満をくみ取ったことが，寺社勢力発展の原動力

C　結果

社会が混乱，上皇・天皇・貴族の大寺院に対する無力さが露呈。

武士による僧兵の鎮圧が，**地方武士の中央政界進出を招く**。



強訴する僧兵と神人

まとめ
院の仏教保護は財政難と僧兵の横暴を招き，社会不安が増大した。
皇族や貴族は大寺社との関係が深く，
武士を登用しなければ僧兵の横暴を抑えきれなかった。

Chapter 2　桓武平氏の台頭

目標
桓武平氏〔伊勢平氏〕が台頭したのはなぜだろう？
平清盛が圧倒的な勢力を誇ったのはなぜだろう？

1　平正盛

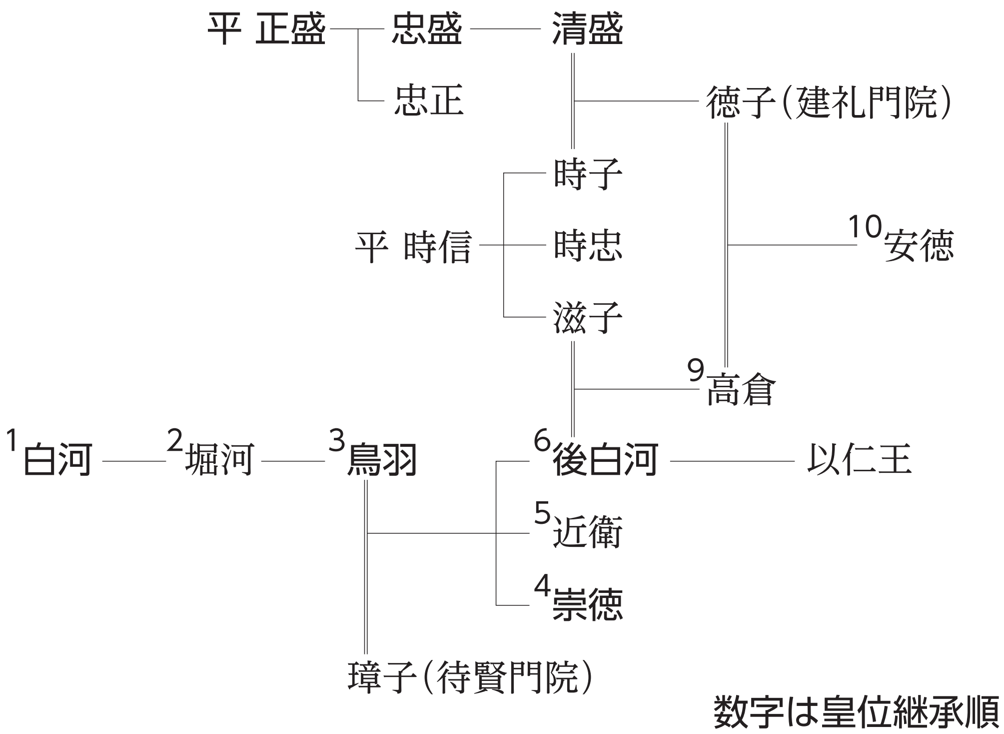
伊勢平氏の**平正盛**は，**白河上皇の院近臣**として北面の武士となり，中央に進出。
また，源義家〔八幡太郎〕の子で河内源氏の棟梁であった**源義親**の反乱を
出雲国で鎮圧（1107 ~ 08 年）した。
※摂関家と結び台頭した清和源氏に対し，院と結び台頭したのが桓武平氏。

2　平忠盛

平忠盛は，**鳥羽上皇の院近臣**として父の正盛とともに瀬戸内海の海賊平定などで活躍。
国司を歴任して西国武士を家人化，**日宋貿易**にも参入した。また，地方武士出身ながら
貴族〔公家〕の仲間入りを果たし，桓武平氏は「武家」となった。
※清和源氏は一族内部の争いもあり衰退したが，義親の子の**源為義**は，
　摂関家と結び少しずつ勢力を盛り返した。

3　平清盛

〔1　　　　　　〕は，保元の乱・平治の乱に連勝し，
後白河上皇の院近臣として太政大臣にまで出世（1167 年）。
皇室・摂関家の〔2　　　　〕としても権力を握り，
のち後白河院政を停止に追い込み**平氏政権**を確立。
父の忠盛が始めた**日宋貿易を大規模に展開**し，莫大な経済力を誇った。
※東国武士団を統率していた河内源氏の棟梁で為義の子の**源義朝**は，
　平治の乱で清盛に敗れ，没落した。それに対し摂津源氏の**源頼政**は，
　平治の乱で清盛に味方することで命脈を保った。



平氏・皇室の関係系図

厳島神社

まとめ

桓武平氏は，院政期に３上皇と結ぶことで台頭した。

平清盛は，武力に加え外戚政策や日宋貿易により力を握った。

第６講　PART２　確認問題

1　六勝寺の一つで，白河天皇によって建立されたのはどれか。

①　成勝寺　　②　最勝寺
③　法勝寺　　④　尊勝寺

2　白河・鳥羽・後白河の３上皇がさかんに参詣した熊野三社に**含まれないもの**はどれか。

①　熊野本宮　　②　那智
③　金剛峯寺　　④　新宮

3　奈良法師と呼ばれたのは，どの寺の僧兵か。

①　唐招提寺　　②　聖林寺
③　薬師寺　　④　興福寺

4　山法師と呼ばれたのは，どの寺の僧兵か。

①　延暦寺　　②　東寺
③　園城寺　　④　東本願寺

5　白河上皇の院近臣として北面の武士となり，中央に進出したのはだれか。

①　平頼盛　　②　平正盛
③　平重盛　　④　平忠正

6 瀬戸内海の海賊平定などで活躍した平忠盛は，どの上皇の院近臣であったか。

① 高倉上皇　② 後白河上皇
③ 鳥羽上皇　④ 崇徳上皇

7 平治の乱で平清盛に敗れ，滅ぼされた源氏の嫡流はだれか。

① 源頼政　② 源為義
③ 源義親　④ 源義朝

8 平治の乱で平清盛に味方することで命脈を保ったのはだれか。

① 源義親　② 源頼政
③ 源義家　④ 源為朝

第６講　PART２　確認問題　解答

1 解答：③　①の成勝寺は崇徳天皇，②の最勝寺は鳥羽天皇，④の尊勝寺は堀河天皇によって建立された。

2 解答：③　大寺社である**熊野三社**（熊野本宮・新宮・那智）に参詣することを**熊野詣**という。

3 解答：④　**興福寺〔南都〕**（大和国）の僧兵は**奈良法師**と呼ばれ，春日神社の神木を掲げて強訴を行った。

4 解答：①　**延暦寺〔北嶺〕**（近江国）の僧兵は**山法師**と呼ばれ，日吉神社の神輿を担いで強訴を行った。③の園城寺〔三井寺〕（近江国）の僧兵は寺法師と呼ばれた。

5 解答：②　**平正盛**は，源義家〔八幡太郎〕の子で河内源氏の棟梁であった**源義親**の反乱を出雲国で鎮圧した。

6 解答：③　②の**後白河上皇**の院近臣となったのは**平清盛**。武士として初めて太政大臣に就任した後，後白河院政を停止に追い込み平氏政権を確立した。

7 解答：④　**源義朝**は，東国武士団を統率していた河内源氏の棟梁で**源為義**の子である。

8 解答：②　**源頼政**は，摂津源氏にあたる。